

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月2日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	亀岡市役所	代表者名	桂川 孝裕
担当者部署	政策企画部	連絡先電話番号	0771-55-9454
担当者役職	係長	担当者氏名	佐藤 由紀子
住所	621-8501 京都府亀岡市安町野々神8		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	他市の具体的な事例から目標と課題設定をわかりやすく解説していただいたあと、受講者それぞれの目標と課題を書き出していくワークに入っていたため、オンラインでのワークショップという初めての経験ではあったが、自分ごととしてワークに取り組んでもらうことができた。また、今回の研修はパワーポイントの字幕機能を活用していただいたことで、よりわかりやすくなった、受講者たちには自分たちが日常使用しているツールにもまだ使っていない便利な機能があるとの気づきがあった。
アドバイザーへの要望事項	研修中一部の受講者がワークシートのどこに記入していいのかわからなくなったということがありました。また、ワークシートの文字が白字記載部分について読み取りにくいとの意見がありました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月29日	14時00分	16時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員(DX推進員、事務局)	人数 50人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <p>本市のDX推進計画の基本理念である「デジタル社会にふさわしい市民サービスをデザインするために」を具現化するためには、幹部職員を始めとした全職員が、自治体がデジタルトランスフォーメーションで目指すべき姿を理解し、具体的な行動を積極的に行っていく必要がある。また、本市では10月8日に亀岡市デジタルファースト宣言を行い、各所属においてDX推進を担う「DX推進員」を選任したため、DX推進員の人材育成を重点的に行う必要がある。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <p>今回と次回の研修でDX推進員全員が、自治体DXと推進に必要なサービスデザインについて理解し、自らの業務でどう生かしていけるかを考えていけるようになる。今だけでなく、少し先を見据えて課題を発見できるようになること。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <p>下記の内容についてオンライン(ZOOM)でワークショップ型研修を実施。(基本自席での受講、一部職員のみ集合会場で受講)当日参加がかなわなかった受講者は、録画を視聴。対象者全員の研修受講が可能になった。 【研修内容】1 icebreaker 2 事例紹介(湯沢市の特別定額給付金の取り組み) 3 自分の業務の「現状」と「あるべき姿」を考える 4 サービスデザインで考えるDXワークショップ 5 質疑応答</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状とあるべき姿のギャップから、目標、問題、課題の設定する方法を共有できた。 ・サービスデザイン思考で取り組みをするための、基礎となる『観察、共感・理解、ニーズと問題の再設定、BPR』についてワークを交えて実践的に学ぶことで実際の業務への取込イメージを持つことができた。 ・DXを進めるためには、情報部門と現場の横連携が重要であることを繰り返し言うていただくことで、『DX=自分ごと』の意識が芽生えはじめている。 <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)</p> <p>・各受講生が持っている目標や課題感を、本市の環境の問題で、研修時に共有することができなかったため、アンケート等を通じて収集し、受講生及び講師と横展開することで今後の取り組みにつなげたい。</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート実施中。集計後提出します。</p> <p>5-3. 今後の計画</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>事業の最終的な目指す姿</p>	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

